

初期教材用 教案 (拗長音編)

【 センシティ土曜にほんご学級 】

【 教案・カードの枚数・授業時間(15分～30分程度)は各教室の状況に合わせて実施してください。】

学習目標： 拗長音が正しく、発話・表記できる。		
教材(カード)	活動内容	留意点
でんしゃ じてんしゃ きゅうしょく やきゅう きょうしつ がびょう びょういん ちゅうしゃ ちゅうしゃ かぼちゃ にんぎょ にんぎょう きゅうり きょうだい	<p>T：「これはなに？」 カードです。 これは何ですか。</p> <p>S：でんしゃ</p> <p>T：はい、これはでんしゃですね。 でんしゃ。どうぞ。</p> <p>S：でんしゃ</p> <p>T：そうですね。では、これは。</p> <p>S：きゅうしょく (順次聞いていく。)</p> <p>T：字を書きます。 △△さん、どうぞ。紙に書きます。</p> <p>T：△△さん、読んでください。</p> <p>T：これでいいですか。</p> <p>S S：はい、いいです。</p> <p>T：字のカードを貼ります。 みなさんは、絵のカードを貼ります。 (全部貼り終えたところで)</p> <p>T：これでいいですか。</p> <p>S S：はい、いいです。</p> <p>T：みんなで読みます。</p> <p>T：今日の勉強はこれで終わります。 (では、ゲームをしましょう。)</p>	<p>「これはなに？」を板書し、発話する。 カードの束を示し、「カード」の語を入れる。 ホワイトボードに1枚ずつ絵カードを貼る。 学習者に発話を促す。丁寧に発音の指導をする。(拍や〇〇を使って指導)</p> <p>絵カードの隣に字カードを貼る。キューで一斉に発話させる。</p> <p>書く前に、字カードをはずす。 ワークシートに書かせる。 生徒、前にでて、書く。</p> <p>発音と表記を確認する。正確な発音ができるように練習させる。全員にも発話させる。表記に間違いがあった場合は訂正する。 (正しいカードを貼る。)</p> <p>字カードをすべて貼る。 学習者に絵カードを貼らせる。</p> <p>アトランダムに絵を指してコーラス・個人で発話させる。</p>
<p>〈カードを使ったゲーム〉</p> <p>①絵カードだけを場に置く。先生、または生徒の一人が字カードを読み上げ、場のカードを取る。</p> <p>②字カードだけを場に置く。先生が黙って絵カードを生徒に示す。生徒は場の字カードを正しく発話してから取る。</p> <p>③神経衰弱ゲーム 絵カード、字カードとも裏にして場に置く。字カードをめくって2枚を合わせる。</p>		